

北原小学校改築推進委員会 要 点 記 録

第 2 回

開催日時		令和6年7月10日(水) 午後6時30分～8時00分
開催場所		北原小学校 2階会議室
出席者	委員	松本宙人、岡陽子、小林てる子、笠原敏、澤田石佳代、 粉川潔、新谷順子、中村陸男、鈴木淳、辻健一、 渡邊健治、藤永益次 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係、子ども教育施設整備係
会議次第		【議事】 1 新校舎整備の基本構想・基本計画の検討について 2 その他

第2回 北原小学校改築推進委員会 会 議 要 旨

1 議事

議事(1) 新校舎整備の基本構想・基本計画の検討について

委員長

議事「(1) 新校舎整備の基本構想基本計画の検討について」について、子ども教育施設課長より説明を求める。

子ども教育施設課長

4月26日に開催した第1回での説明内容に対するご意見書の内容を踏まえた検討状況を説明する。

■資料2「ブロックプラン検討案」の説明

資料2の学校の配置プランについて、今回提示するプランについては、あくまでも検討中であることから、決定したものではないということをご理解いただいた上でご一読いただきたい。配置案については校庭を南側に、校舎を北側に、教室を南向きとした「案2」が

校庭については現状同等の面積を確保しているが、地域イベントでの利用を想定した大走及び遊具スペースを考慮すると110mトラック(資料では120mトラックとなっているが、正しくは110mトラック)の4レーンとなる。北原小学校の敷地は第一種低層用途地域内にあるため、建物の最高高さは10mであり、地上部分は三階までしか建てることができない。さらに敷地面積が6600㎡と狭いために地上だけで建物が収まらず、地下に建物を配置せざるを得ない状態である。そのため、子ども達の生活空間を地上に配置しつつ屋内運動場、給食室、管理諸室、駐輪場を地下に配置している。プールは地上3階に配置している。1階は職員室、校長室、事務室、保健室などの管理諸室に加えて特別支援教室、家庭科室などを配置、学童クラブは1階の北東側に配置している。学童クラブを2室計画しているが、面積の都合によりキッズプラザの活動室が計画できていない。多目的室を共用できないか検討しているところである。普通教室は、2階、3階の校庭側に配置している。2階中央部の学習メディアセンターと図書館、コンピュートールームを一体にしたような空間を計画している。

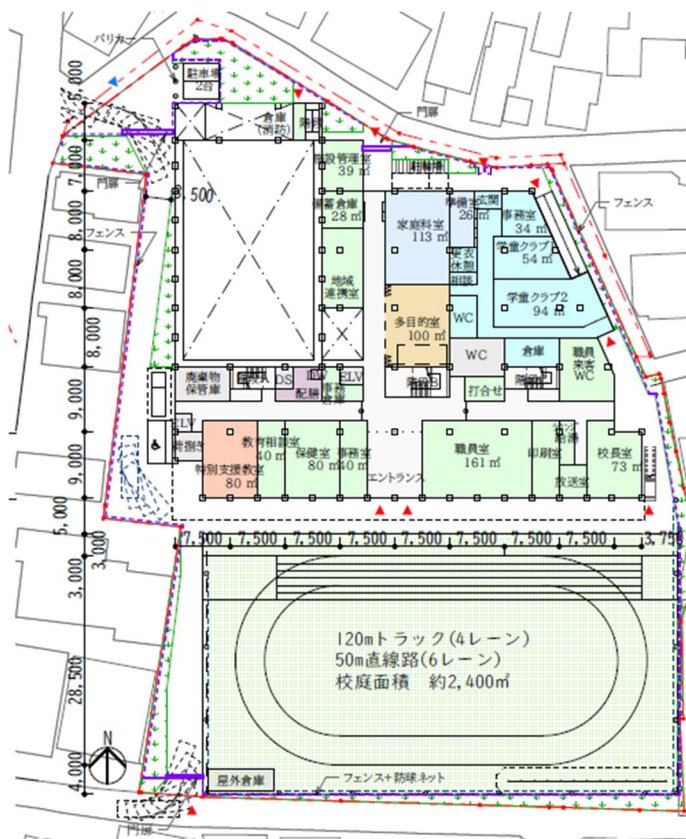


図1-1 (1階)：ブロックプラン検討案(資料2より抜粋)

■資料4「新校舎整備のスケジュール(案)」の説明

第1回改築推進委員会で示したスケジュールと異なる箇所について説明する。整備期間について、2029年度中の工事が終了予定であったが、基本構想・基本計画の見直しや車両制限に伴う工期の延伸を踏まえ、現時点では2031年度に供用開始を予定している。

2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	2031年度 (令和13年度)
現在の校舎に通学			明和中学校跡施設の校舎に通学				新校舎に通学
基本構想 基本計画	基本設計・実施設計		改築整備				● 新校舎 供用開始

※今後、スケジュールの変更が生じる可能性がある。

図2：新校舎整備スケジュール(想定)(資料4より抜粋)

■資料1「第1回北原小学校改築推進委員会の資料等に関する各委員分のご意見書」の概要の説明

皆様からいただいた意見書の取り扱いについて先日、委員の皆様を確認させていただいた。その結果、北原小学校改築推進委員会（以下、「推進委員会」）委員に資料を共有すること及び今回の推進委員会の資料とすることについて、共に記名欄を伏せれば良いとの意見があった。そのため、配布した意見書の名前の部分については墨消しにしている。

皆様から校庭の舗装を人工芝とすることについてのご指摘が数多く寄せられた。人工芝への反対意見としては、盆踊りやサマーキャンプ等のイベントの制約により子ども達の経験の場がなくなること、屋台の出店に支障があること、飲食する場所が限られること等である。

■資料3「校庭整備に関する検討」の説明

火気を扱う地域イベントが開催できるようにするため、校舎と校庭の間の犬走部分について耐火仕上げとしている。犬走部分の幅員を4m程度とし、テントを設置して屋台の出店ができるように計画している。人工芝部分については、シートやコンクリートパネル等で養生することにより、飲食や櫓を設置できるよう検討している。

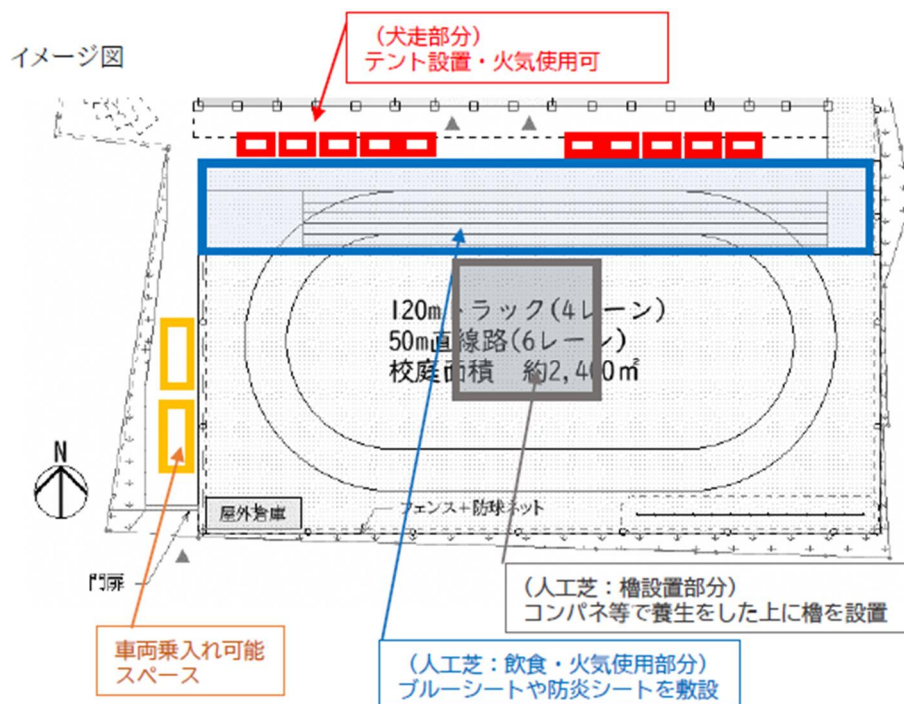


図3：人工芝でイベントを行う場合の対応について(資料3より抜粋)

委員長

説明内容について、質問・意見等はあるか。

委員

所属団体に持ち帰って検討したところ、校庭舗装を人工芝とすることについては計画の見直しをお願いしたいという総意があった。

委員

実際に人工芝を使用している学校のPTA等から意見を伺ってみたい。北原小学校で地域のコミュニケーションが取れる行事を続けていきたいと思っている。

委員

学校としての用途は守りつつ、地域施設としての有用性について考えていきたい。人工芝については地域の人の意見を踏まえて決めるのが良いのではないかな。

子ども教育施設課長

意見書を拝見し、人工芝に対する意見がほとんどであったため、大きな課題であると考えている。現在検討しているプランは、特に1階部分において子ども達と地域の方が交流してほしいという考えで計画している。中央の貫通通路と、その脇に多目的室や家庭科室を配置することで、子ども達と地域の方が使える空間を作っていく考えである。今後ご意見を参考に、設計の中に反映していきたいと考えている。

委員

人工芝には反対である。自然のままである土の校庭となることを希望している。校庭南側案には賛成である。中野区の基本方針として人工芝化を示していることに驚いている。人工芝ではない学校もあって良いのではないか。

委員

人工芝についても反対であるが、学校に通いたくない子ども達に対しての配慮について、どのように校舎の計画に反映していくお考えか。

子ども教育施設課長

中野区内の他小学校では、空き教室等を利用し、子ども達とマンツーマンに近いような環境をつくり対応している例がある。新しく校舎をつくる際は、そのような環境をつくれるように一定数の予備教室を設けておくことが重要であると考えており、北原小学校の新校舎でも、予備教室を確保できる計画としている。

委員

人工芝には反対である。子ども達には今まで通りのイベントを通じて学んでほしい。また、一足制についても泥の清掃や同じ靴でトイレに出入りすることから衛生面などを考えると反対であるが、人工芝に併せて一足制での整備も必要か。

子ども教育施設課長

中野区では、一足制と人工芝をセットで整備する方針である。ただし、一足制の学校だからといって感染症が多いというデータはない状況である。泥についてはエントランス部分で落とすことができる計画としている。

委員

普通教室が入る2階、3階にトイレが各1箇所のため、休み時間に生徒が集中しないか懸念している。また地下に給食室があるため、カビが生えないか心配である。区の小学校の整備実績において反省点や改善点を集約し、次に活かすようなことは行っているか。

子ども教育施設課長

実際に使ってみて不具合や問題点、課題が明らかになってきた場合は、次に向けて活かせるようにトライしているところである。北原小学校は敷地が狭いため、子ども達の教室を地上に計画するために仕方なく地下化している。給食室の地下化については中野区での事例がないが、千代田区ではほとんどの学校が地下であるため参考にする。

委員

実際に給食室の地下化によってカビが生えている学校もあると聞いたことがあるため、十分に配慮、検討してほしい。食材の搬入時の動線が複雑になってしまうのではないかと
いう懸念もある。体育館の地下化についても避難経路に懸念している。

また、現状のブロックプランは人工芝を前提としているため砂地のパターンとの並行した
検討が必要なのではないか。校庭の仕上げを決定する期限はいつなのか。

子ども教育施設課長

慎重に検討を行っているところである。当初の予定では整備の基本方針を 8 月頃に決定
するつもりであったが、引き続き、人工芝の課題の解決に向けて検討が必要であると考え
ている。

委員

北原小学校をコミュニティスクールとする方針もあり、地域と一体になって子ども達を
育てていく上で、小学校の整備では子どもを第一に考えてほしい。また、人工芝による熱
中症のリスク増加についても懸念している。怪我の防止になると聞いているが、最も怪我
の多い遊具付近に限定し、クッション性のある人工芝にすることも考えられるのではない
か。

委員

人工芝に関しては所属団体の総意として反対である。また、耐火性のコンクリートにつ
いて、コンクリートに火が直接当たるような行事を行っても問題ないということか。

子ども教育施設課長

問題ない。劣化はするが、補修しながら利用することとなる。

委員

イベントの際、飲食・火気使用部分については面積が狭く、開催は不可能であると思わ
れる。また、どこまで委員の意見が計画に反映されるのかが不明確であると感じており、
改築推進委員会の位置づけについて改めて伺いたい。

子ども教育施設課長

地域の意見を設計の中に反映しながら、設計を行うという点に意義があると考えてい
る。実際に他の小学校の計画では、いただいた意見を設計に落とし込んでいる事例もあ
る。北原小学校の場合は、人工芝化の課題が設計の根幹にかかる部分であるため、これに
関する議論に時間がかかるため、現在は具体的な設計まで進めない状況である。

委員長

人工芝の反対意見が多数のため、現在の基本計画を見直し、人工芝ではないプランを再検討いただくことは可能か。

委員

年に1回、校庭で子ども達のために移動動物園を開催しており、動物の糞等も人工芝には向いていないのではないかと懸念している。

委員

火災が起きた際、人工芝の校庭が燃えてしまい避難できないといった心配はないか。有事の際、校庭の炊き出し等の利用についてはどうお考えか。

子ども教育施設課長

人工芝の詳細は検討中であるが、火がついても燃え広がることはない。また、有事の際は人工芝上で火を使うことは厭わない。また、防災の観点でいうと、防災倉庫の計画位置についても消防団と検討を行っている事例もあるため、今後ご意見いただければと考える。

委員

人工芝か土の校庭かによって計画が大きく変わるため、まずは校庭の仕上げを最優先で決める必要があるのではないか。いつまでも校舎の計画に移れないのはスケジュール的にも問題だと感じている。

子ども教育施設課

本日いただいた意見を踏まえて、引き続き検討を行う予定である。

委員長

当初は年内の委員会が今回最後という予定だったが、年内にもう一度開催すると伺っている。事務局より今後の予定について説明をお願いしたい。

事務局

次回の推進委員会の日程は、委員の皆さまに改めて開催の連絡をさせていただく。

委員長

では、今後の予定や検討案については改めて事務局よりご連絡いただくということにする。他に質問等なければ、本日の改築推進委員会はこれをもって終了とする。